

1月19日(火曜日)「しもべの証言」

【新改訳 2017】

創世記 24・34、35

「……『私はアブラハムのしもべです。主は私の主人を大いに祝福されましたので、主人は富んでおります。主は羊や牛、銀や金、男女の奴隷、らくだやろばをお与えになりました。』」

これは、「あらゆる面で祝福されたアブラハム」についての、彼のしもべの証言です。ここに神の祝福の一面をはっきりと見ることができます。それは、物質的、経済的な面も豊かに富む者とされたことです。

アブラハムは、自分の弱さや失敗にもかかわらず、神を信じ神に信頼することを心がけました。その信仰を主なる神は汲み取ってくださり、彼を義と認めてくださいました。神の御前に正しい者と認めてくださり、物質的な面でも祝福されたのです。現世利益と言うこともできます。

しかし、ここで誤解のないようにしましょう。この豊かさが祝福のすべてなのではありません。彼が神を信じ、義と認められたという霊的な祝福があってこそその豊かさであったことを忘

れないようにしたいものです。

～祈り～

主よ。あなたは、信仰の人アブラハムにされたように、物質的にも豊かに祝福してくださるお方です。『豊かさ』も神からのものと知ることができますように。

【学びのために】

箴言 10・22「主の祝福そのものが人を富ませ、人の苦勞は何もそれに加えない。」アブラハムが、特別に物質的的祝福を熱心に求めたという記録はありません。神を第一にした信仰への祝福だったのです。(マタイ 6・33 参照)